

(様式5)

瀬戸内市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度 に対するご意見等と市の考え方について

令和4年7月19日から8月8日まで、「瀬戸内市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」について、パブリックコメントにより意見等を募集したところ、以下のご意見等をいただきました。

これらのご意見等につきまして、次のとおり整理し、市の考え方を示しました。

なお、取りまとめの便宜上、寄せられたご意見等は要約させていただいております。

ご意見等の要旨	市の考え方
瀬戸内市の取り組みに賛同します。	性的少数者の方の生きづらさや不安の軽減、差別や偏見の解消、社会的な理解の促進など、多様性が尊重された社会の実現を目指してまいります。
この制度があった方が良くと思います。性別（異性、同性）にこだわる必要はないと思います。お互いが好きでいるのなら、それで良いと思うから、メリットしかないと思います。	
パートナーシップ宣誓制度は、必要な制度だと感じています。人は皆平等であり、異性で婚姻できる人のみが受けられる権利があるのはおかしいと思います。	
この制度は必要です。だめだという理由が見当たりません。みんなが自由に決めることが出来ないといけないと思います。	
この制度によるデメリットはないのではないかと思います。多様性について子どもたちに教えていくには、この制度は良い学習の機会になるのではないのでしょうか。	
私は「言葉」を聞いたことはありましたが、意味をよく知りませんでした。 正しく理解して、応援できることを嬉しく思います。 瀬戸内市の考え方は素敵です。	性的少数者の方への市民の方の理解を促進するため、制度の趣旨を周知するとともに、啓発に努めてまいります。
実際には、言いづらいから皆が知らないだけで、困っている人がたくさんいると思います。自分がこれまで関わってきた中にはけっこういました。だからこの制度が必要だと思います。	
この制度で不利益を被る人がいるとは思えません。若い世代は、ネットの情報や、B L ・ G L 漫画で抵抗がないのではないのでしょうか。むしろ現実には同性婚がないのが不思議です。	
同性婚が認められなかったり、この制度が無いことは、他の自治体や海外と格差があると感じます。平等ではないと思います。	

ご意見等の要旨	市の考え方
異性カップルは婚姻が認められ、家族として社会に認識されますが、同性カップルはそれが認められないのは、子どもに説明がつかないし、子どもが理解できないと思います。	パートナーシップ宣誓制度と併せてファミリーシップ宣誓制度の導入を検討したのは、人権や多様性の尊重の観点から、多様な家族の在り方を認めるとともに、誰もが安心して暮らすことができる社会への取り組みとなると考えたためです。 市が要綱で制定するこの制度は、婚姻のような法的効力はありませんが、今後、市民の方への理解を促進するため、制度の趣旨を周知するとともに、啓発に努めてまいります。
パートナーのみでなく、子どもや当事者の親も認められるのは良いことだと思います。一昔前なら理解をされないかもしれませんが、今は多様性が受け入れられる時代です。多様な形の家族があってよいと思います。	
ファミリーシップ宣誓制度も導入した方がよいと思います。その制度を導入することに関するデメリットが考えられません。	
病院での説明を受けることができたり、手術の同意ができるサービスは必要だと思います。手術を受ける人も、実生活で身近にいるパートナーや家族に判断してもらいたいのではないのでしょうか。	病状説明や手術同意など医療機関においてパートナーやその家族も家族として対応を受けることができるよう、この制度の趣旨を理解していただくための周知・啓発に努めてまいります。
病院の説明など、家族なら受けたいと思うのが当然だと思います。	
カミングアウトは負担が大きく、相談窓口には行きにくいと思います。子ども広場のような和気あいあいと話しやすい場があると、実際に困った時に、相談しやすいと思います。	相談窓口へ行けなくても、様々なコミュニティで身近に相談ができるよう、市民の方への性的少数者の方への理解が深まる周知・啓発に努めてまいります。
人とのつながり、いろんな距離感の人間関係。他人の方が話しやすいのではないのでしょうか。親や仲のよい友だちには言いづらいし、言っても受け入れてもえないことを心配して言えないのではないのでしょうか。	
社会の理解が大切だと思います。社会が性的少数者に対して理解がないと、当事者はもとより、行政がいくら頑張っても住みよい社会にはならないと思います。	この制度を導入することは、性的少数者の方々が社会の中で置かれている状況を多くの方が知る一つのきっかけになると考えています。市民の性的少数者の方への理解を促進するため、制度の趣旨を周知するとともに、多様性を認め合う人権尊重のまちになるよう、啓発に取り組んでまいります。
年代によって、受け止めがかなり違うのではないのでしょうか。知らない人の考え方を改めていけるような取り組みが必要だと思います。	
小学校・中学校の制服も選べるようにすべきです。	小中学校の制服については、各校においてPTAとも協議した上で選定されているものと理解しております。

ご意見等の要旨	市の考え方
友だちから相談されたら、学校のスクールカウンセラーの先生に相談するとよいと思います。そういう仕組みがあることを周知するべきだと思います。	教育委員会と連携し、児童・生徒へスクールカウンセラーの周知をするとともに、ジェンダー教育を進めてまいります。
トイレのことは心配です。女子トイレに不審者（男性）が入ってくることを想像すると、娘のことがとても心配です。	一人ひとりが安心・安全な暮らしができるよう、今後の参考とさせていただきます。